

へん べい かん  
扁平缶 (ポリタンク) スリット入り **新商品**

新商品 RoHS 10 返品 不可 当日 発送 運賃 別途

中栓付 遮光性 目盛付



扁平缶 スリット入り ※価格は全てオープン価格です。

コードNo.	品名	容量	A (内径)	W	D	H	販売単位	入数/梱包
0182SW	ホワイト	2ℓ	24	145	90	210	1個	50
0182SGY	グレー	2ℓ	24	145	90	210	1個	50
0182SBK	ブラック	2ℓ	24	145	90	210	1個	50
0189SW	ホワイト	1ℓ	24	116	66	193	1個	50
0189SGY	グレー	1ℓ	24	116	66	193	1個	50
0189SBK	ブラック	1ℓ	24	116	66	193	1個	50

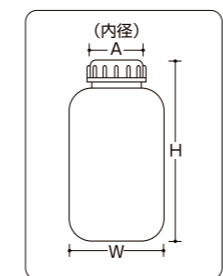
■ 通常在庫品 ■ 3~5日 ■ 7~10日  
■ 材質/ポリエチレン(PE) ■ 製造国/日本 ※寸法には許容差があります。(単位mm)

- スリット部分から透過いたします。
- 遮光率は本体色の濃さによって異なります。
- 目盛間隔(目盛は目安となります)  
0182Sシリーズ—250ml  
0189Sシリーズ—100ml

細口茶色瓶 スリット入り **新商品**

新商品 RoHS 10 返品 不可 当日 発送 運賃 別途

中栓付 遮光性 目盛付



- スリット部分から透過いたします。
- 遮光率は本体色の濃さによって異なります。
- 目盛間隔(目盛は目安となります)  
0116SBR—50ml  
0117SBR—100ml

細口瓶 スリット入り ※価格は全てオープン価格です。

コードNo.	品名	容量	A (内径)	W	H	販売単位	入数/梱包
0116SBR	細口茶色瓶 スリット入り500ml	500ml	24	80	175	1個	144
0117SBR	細口茶色瓶 スリット入り1ℓ	1ℓ	24	98	207	1個	80

■ 通常在庫品 ■ 3~5日 ■ 7~10日  
■ 材質/ポリエチレン(PE) ■ 製造国/日本 ※寸法には許容差があります。(単位mm)

スリット付だから残量が見える!

スリット入り容器の量産が可能な設備を導入しました。

便利なスリット&目盛り付き!  
(目盛り間隔100ml) ※目盛は目安となります。

ホワイト(0189SW)      グレー(0189SGY)      ブラック(0189SBK)

中栓付 パッキン付 遮光性 目盛付



- No.0205BK・No.0206BK・No.0207BKはオプションツル付カラーキャップがあります。詳しくはP30をご参照ください。
- No.0205BK・No.0206BK・No.0207BKにはノズルセットがあります。詳しくはP29をご参照ください。
- No.0205BK・No.0206BK・No.0207BKにはキャップロートがあります。詳しくはP30をご参照ください。
- No.0185BK・No.0188BKにはオプションでノズルがあります。
- No.0189SBKはスリット部分から透過いたします。
- 遮光率は本体色の濃さによって異なります。

扁平缶 ブラックシリーズ ※価格は全てオープン価格です。

コードNo.	品名	容量	A (内径)	A' (内径)	W	D	H	販売 単位	入数/ 梱包
0189SBK	扁平缶1LA スリット入り	1ℓ	24	—	116	66	193	1個~	50
0185BK	扁平缶4L	4ℓ	30	—	192	120	280	1個~	20
0188BK	扁平缶縦口5L	5ℓ	33	—	200	140	280	1個~	15
0205BK	扁平缶両口5L	5ℓ	44	44	260	120	285	1個~	15
0206BK	扁平缶両口10L	10ℓ	44	44	310	150	330	1個~	9
0207BK	扁平缶両口20L	20ℓ	50	44	350	178	416	1個~	10

■通常在庫品 ■3~5日 ■7~10日  
■材質/ポリエチレン(PE) ■製造国/日本 ※寸法には許容差があります。(単位mm)

プラスチック Q&A

Q プラスチックって、一体どんなものですか？

A JISH本工業規格によると「高分子物質を主原料として、人工的に有能な形状に形作られた固体」となっています。難しい話はさておき、プラスチックには大きく二つの種類に分けることが可能です。一つは、熱を加えることで柔らかく、冷やすとかたまるものです。これを熱可塑性(ねつかそせい)プラスチックと言い、再び熱を加えると溶融して加工できます。発泡スチロールやペットボトルなどに用いられています。もう一つは、熱を加えると固くなるものです。熱硬化性プラスチックと呼ばれており、これは熱可塑性プラスチックとは違い、再び熱を加えても溶融しません。電気のコネクタやヘルメット、浴槽などに使われています。ちなみにプラスチックは、天然の松や漆から出る樹脂を真似て作っていることから合成樹脂とも呼ばれています。



Q プラスチックは、いつ・誰が発明したの？

A 最初のプラスチックは1868年、アメリカで生まれたセルロイドとされています。それまで高価な象牙で作られていたビリヤードの玉に変わる材料として発明されたもので、ビリヤード企業による懸賞に対し、ジョン・W・ハイアットという人物が知恵を絞ったものだそうです。しかし、セルロイドには燃えやすいという欠点があり、これに変わるものとして1909年、新しいプラスチックが発明されました。このプラスチックは発明者であり、化学者である本人の名前をとってパークライトと名付けられました。日本では1914年にフェノール樹脂というものが石炭から作られ、1949年には塩化ビニルの生産が開始。石油化学工業が政策の後押しでスタートした1958年ごろから大量生産が始まったと言われています。



Q プラスチックの語源は？

A プラスチック(Plastic)という言葉はギリシャ語に語源を持つ英語(Plasticity: 可塑性)からきています。可塑性とは、力を加えると変形し、力を取り去った後も変形状態を保つ性質をいいます。そして、実際に様々な形態に姿を変え、私たちの暮らしに息づいています。ペットボトルやレジ袋、カップ麺容器など身のまわりの生活用品はもちろん、水に強く、さびないことから住宅用の壁や雨どいなどの配管といった建築材料にも用いられています。また軽量でクッション性もあることから、自動車のバンパーやダッシュボード、バイクのカバーにも使用。農業用のビニールハウス、漁業では強化プラスチックの漁船が代表例です。医療界においても様々な場面で活躍中です。注射器などは、感染予防のため容易に使い捨てできる特性を持つプラスチックが便利。点滴のパックや人工関節、さらには入れ歯、コンタクトレンズなどにもプラスチックが用いられています。珍しいものでは風力発電のプロペラ、ドーム球場の屋根などがあります。



Plastic  
Plasticity

